

38 「攻めの農林水産業」の展開に資する研究開発 【3,905(4,001)百万円】

対策のポイント

国内外の市場の開拓や国内シェアの奪還、効率的で力強い生産現場の構築等のための研究開発を推進します。

<背景／課題>

- ・農林水産業の成長産業化のためには、輸出の拡大、輸入品に対抗できる高い品質を有する農林水産物の安定生産、経営規模の更なる拡大、生産・流通の大幅な低コスト化が必要です。
- ・こうした課題に取り組む生産者や産地は、現在の技術体系では解決できない問題に直面しており、新たな品種や技術体系を確立するための研究開発の推進が求められています。

政策目標

- 研究成果の活用による輸出額増を10以上の主要な輸出産地において実現（平成37年度）
- 生乳の生産コストの5%以上削減を可能とする技術を開発（平成32年度）

<主な内容>

1. 市場開拓に向けた取組を支える研究開発（委託プロジェクト研究）

738(220)百万円

国内外の市場開拓や国内シェア奪還に向け、青果物等の輸出産地の課題解決、薬用作物の国内生産の拡大、和牛肉の新たな評価指標に基づく和牛生産、地域の農林水産物・食品の機能性の発掘、大径材の最適利用等のための研究開発を推進します。

2. 生産現場強化のための研究開発（委託プロジェクト研究）

1,915(1,866)百万円

効率的で力強い生産現場の構築のため、水田作における麦・大豆、飼料用米の収量の高位安定化技術、飼料用米給与による畜産物の差別化技術、酪農の生産性向上と省力化を同時に達成し得る飼養管理システムなどの研究開発を推進します。

3. 技術でつなぐバリューチェーン構築のための研究開発（委託プロジェクト研究）

1,252(1,915)百万円

「強み」のある新品種を創出するため、実需者等のニーズに応じた業務・加工用作物品種の開発や、これを支えるゲノム育種と海外植物遺伝資源の収集・提供を推進します。また、施設園芸の収益力向上のため、地域資源を活用した効率的かつ低コストなエネルギー利活用技術の開発を推進します。

（委託費）
（委託先：民間団体等）

<各省との連携>

- 内閣府 ・イノベーションが主導する農林水産業の成長産業化を目指し、「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の下で、農業のスマート化に向けた技術やシステムの開発、新たな育種技術の開発等を推進

お問い合わせ先：技術会議事務局

- 1 及び 2 の事業 研究統括官（食料戦略、除染）（03-3502-2549）
- 3 の事業 研究開発官（食の安全、基礎・基盤）（03-3502-7435）

「攻めの農林水産業」の展開に資する研究開発（委託プロジェクト研究）

農林水産業の成長産業化に向け、国内外の市場開拓や国内シェア奪還、効率的で力強い生産現場の構築、「強み」のある新品種の開発等のための研究開発を推進。

市場開拓に向けた取組を支える研究開発

生産現場の強化のための研究開発

技術でつなぐバリューチェーン構築のための研究開発

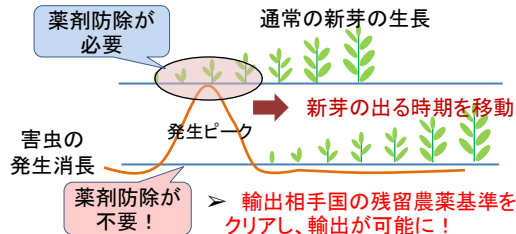
○国内外の市場開拓に向け、産地の課題解決に資する研究開発の推進

○労働力不足や飼料価格等の高騰に負けない新たな生産システムの開発を推進

○マーケット・インの発想により強みのある新品種の開発を推進

＜具体的な研究例＞

海外市場開拓（茶の例）



相手国の検疫条件等に適した生産技術、長期輸送技術等の開発

輸入品への対抗策（国産和牛の例）



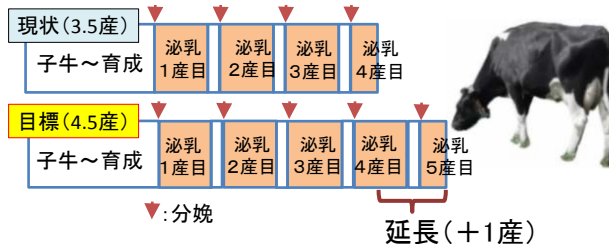
サシの入り方以外の香り成分、旨味成分等の網羅的解析

優位な差別化を図る新たな評価指標の確立や評価指標に基づく改良技術等を開発

国産農林水産物の
生産・消費拡大

＜具体的な研究例（畜産分野）＞

乳用牛の泌乳期間の延長（平均1産の増加）



生産性の向上と省力化を同時に達成する
新たな飼養管理システムの開発

種類	収穫部位	TDN 含量	家畜
イアコーン	雌穂（芯、穂皮、子実）、茎葉の一部	約80	牛
コーンコブミックス（CCM）*	子実、芯の一部	約90	牛、豚

* トウモロコシの芯と子実を利用する飼料

栄養価が高く、輸入飼料より安い自給濃厚飼料
による新たな生産システムの開発

省力化・低コスト化による
収益力向上

＜具体的な研究例＞



グルテンを含まない100%米粉パン
赤果肉リンゴを用いたセミドライフルーツ
加工歩留まりの高い長球形のタマネギ

実需者と連携した業務加工用品種の開発

海外からの有用遺伝子の導入や育種期間を大幅に短縮するDNAマーカーの開発により、品種開発を下支え

「強み」のある農産物の創出

イノベーションが主導する農林水産業の成長産業化